

ひとり情シスのIです。

今日は、DB書き込みの続きです。

あれから、細かい処理をいくつか修正して、ボーリングデータを入力して、どの機長の班が何月何日に稼働したかを表にしてみます。表とはいっても、今日はデータベースの問い合わせ結果の出力ですが、もう少し頑張ればガントチャートに落とせるとは思います。

孔情報テーブル：

ROWID	孔連番	業務番号	調査名1	孔名	ボーリング責任者
35	35	18005	〇〇川広域河川改修工	B-1(〇〇橋起点)	徳川家康
36	36	18005	〇〇川広域河川改修工	B-2(〇〇橋終点)	織田信長
37	37	18005	〇〇川広域河川改修工	B-3(左岸1号)	織田信長
38	38	18005	〇〇川広域河川改修工	B-4(左岸5号)	織田信長
(null)	(null)	(null)	(null)	(null)	(null)

掘進月日テーブル：

ROWID	連番	孔連番	深度	年月日
1	35	35	7.5	20180820
2	36	36	12.5	20180821
3	35	35	15.5	20180822
4	35	35	24.5	20180824
5	35	35	29.31	20180825
6	36	36	6.5	20180820
7	36	36	10.5	20180821
8	36	36	18.5	20180824
9	36	36	25.5	20180825
10	37	37	7.5	20180604
11	37	37	14	20180605
12	37	37	20.5	20180607
13	37	37	25.35	20180608
14	38	38	2.45	20180614
15	38	38	6	20180615
16	38	38	15	20180618
17	38	38	19	20180619
(null)	(null)	(null)	(null)	(null)

上記2つのテーブルから、以下SQL文で2つのテーブルを孔連番で突き合わせて、ボーリング責任者と掘進年月日（掘進が進んでいることは稼働していることとほぼほぼ等しい）を出力します。

SQL文：

```
SELECT 孔情報.孔連番, 孔情報.業務番号, 孔情報.調査名1, 孔情報.孔名, 孔情報.ボーリング責任者, 掘進月日, 深度, 掘進月日.年月日 FROM 孔情報, 掘進月日 WHERE 孔情報.孔連番=掘進月日.孔連番 ORDER BY 孔情報.ボーリング責任者, 掘進月日.年月日
```

出力結果：

	孔連番	業務番号	調査名1	孔名	ボーリング責任者	深度	年月日
1	35	18005	〇〇川広域河川改修工	B-1(〇〇橋起点)	徳川家康	7.5	20180820
2	35	18005	〇〇川広域河川改修工	B-1(〇〇橋起点)	徳川家康	12.5	20180821
3	35	18005	〇〇川広域河川改修工	B-1(〇〇橋起点)	徳川家康	15.5	20180822
4	35	18005	〇〇川広域河川改修工	B-1(〇〇橋起点)	徳川家康	24.5	20180824
5	35	18005	〇〇川広域河川改修工	B-1(〇〇橋起点)	徳川家康	29.31	20180825
6	37	18005	〇〇川広域河川改修工	B-3(左岸1号)	織田信長	7.5	20180604
7	37	18005	〇〇川広域河川改修工	B-3(左岸1号)	織田信長	14	20180605
8	37	18005	〇〇川広域河川改修工	B-3(左岸1号)	織田信長	20.5	20180607
9	37	18005	〇〇川広域河川改修工	B-3(左岸1号)	織田信長	25.35	20180608
10	38	18005	〇〇川広域河川改修工	B-4(左岸5号)	織田信長	2.45	20180614
11	38	18005	〇〇川広域河川改修工	B-4(左岸5号)	織田信長	6	20180615
12	38	18005	〇〇川広域河川改修工	B-4(左岸5号)	織田信長	15	20180618
13	38	18005	〇〇川広域河川改修工	B-4(左岸5号)	織田信長	19	20180619
14	36	18005	〇〇川広域河川改修工	B-2(〇〇橋終点)	織田信長	6.5	20180820
15	36	18005	〇〇川広域河川改修工	B-2(〇〇橋終点)	織田信長	10.5	20180821
16	36	18005	〇〇川広域河川改修工	B-2(〇〇橋終点)	織田信長	18.5	20180824
17	36	18005	〇〇川広域河川改修工	B-2(〇〇橋終点)	織田信長	25.5	20180825

今日はこんなところでしょうか。それでは、また明日。(I)